

## 南あわじ市保育所のあり方検討委員会(第5回)議事【要旨説明】

日 時 平成26年2月17日(月) 午後7時

場 所 南あわじ市役所緑庁舎 第2会議室

### 1 開 会

### 2 あいさつ

委員長

本日は、4名欠席となっておりますが、過半数は超えておりますので、はじめさせて頂きたいと思っております。今日は、クロス集計の結果が出まして、それについて、まとめの分析をして頂いておりますので、これについて、気付いたことや課題について議論していければと思っております。

### 3 議 事

#### (1)アンケート調査の集計結果について

委員長

それでは、事務局の方より説明をお願いいたします。

#### 事務局よりアンケート集計結果(クロス集計)の説明

委員長

アンケートのクロス集計結果が、地区・年齢別で出てきましたが、地区の特性に当たる部分や全体的な傾向と言った2つのポイントで自由に意見を述べて頂ければと思っております。先程、説明にもありましたが、幼保一体化・認定こども園と言ったところは、ほとんど保護者をご存じないという事ですが、これについては、今後の保育の動向ですので、広報等でお知らせしていくべきかもしれませんね。

委員

アンケート集計や自由記述から見れば、保護者の皆様は、お子様の保育の場所である保育所に対して、安心・安全を強く求められている事がはっきりと読み取れると思っております。その一方で、P3にある「侵入者・不審者に対する対応」では、1割以上の方が、不安を感じているというところは、気になりました。ハード面もさることながら、ソフト面への関心の高さもある程度見て取れたのは、保育の内容や職員の皆様への期待というのがありました。

特に自由記述のなかで、職員の皆様が大変な思いをされているのではないかという記述が結構目についたというところからすると、保護者の思いの実態のアンケートをとりましたが、実際に働かされている保育士さんの思いはどうかと感じました。実際に、児童を預かって保育を担っているという事に対して、真摯に向き合えるだけの余裕が持たれているのかというところが気になりました。後、P15の児童数が気になるかどうかという点ですが、児童数が少ない保育所の保護者は、人数が少ないと不安で、児童数が多い保育所の保護者は、多い事が不安というパーセンテージが高いというのは、なるほどと感じました。単純に保育所を選んだ理由が、自宅に近いからという回答が多いですが、その地域で住んでいるというふうな事が若い保護者の方々にはあるのかなという事、その辺りがまた今後の地域福祉を推進していく、コミュニティ力を高めていく上でのヒントになるのかなと思いました。もう1点、P18で保育所(園)は1小学校区に1施設でよいかとの設問に対して、年齢層でみると、0・1歳児の保護者が「わからない」という回答が多かった。これはあくまでも推測ですが、お子様が大きくなり、小学校の入学が見えてくれば、うちの地区がどの小学校区で、小学校区に保育所がいくつある等の意識が働くのかなという印象を受けました。そういったことも含めて、早め早めの情報提供が必要なのかなと思いました。なによりも、「わからない」や「どちらとも言えない」という回答は、全てが分からないという事ですし、幼保一体化や認定こども園の事もそうですが、今この議論がなぜなされているのかという事も含めて、しっかりとお知らせしてあげる必要があるのかなと思いました。

#### 委員長

ありがとうございます。確かに、1小学校区に1保育所が世間的には一番多いですが、今回の回答では、「わからない」という回答が多数ありました。P18の分析に、「幼稚園統合に「賛成」「迷い」が混在」と記載がありますが、それは、その影響でしょうか。

#### 事務局

これは、津井・阿那賀・伊加利地区、特に阿那賀と伊加利地区で(回答人数は少ないですが)半々の回答となっており、今の辰美小学校区の中に4つの幼稚園がある中で、幼稚園統合について、教育委員会はその方向でいっているようですが、まだ迷いがあるのかなと感じたので、記入させて頂きました。阿那賀・伊加利地区でも「児童数が多いと不安になる」という回

答がありました。その辺について、保護者はどのような気持ちなのかが分からない部分があったので、記入させて頂きました。

#### 委員長

要因として考えられるのではないかという事ですね。このデータの見方については、色々あるとは思いますが、人数の少ない所は、極端に出やすく、多い所は、緩む傾向があると思います。ですので、人数の少ない所というのは、判断が難しいです。他にはどうでしょうか。

#### 委員

このアンケートから、保護者の方々は、地域の保育園に行きたいというのは顕著に表れていると実感しました。自由記述のP17に「自分の地域の保育所へ入りたいが、仕事をしていなくて、専業主婦である場合、入所には勤務証明書等が必要となり、それが貰えず、遠いが幼稚園を選ばなければいけない」というのがあります。また、いろいろな証明を貰って保育所へ入所するというような事があると聞きます。その部分に関しては、どうしてあげればいいのかとを感じる事がよくあります。この間、父親が九州出身で、母親が広島出身で第1子が4歳と第2子が6ヶ月という世帯で、保育所に入れないという事がありました。そういう事があるので、幼保一元化というのを早く出来るようにと思います。P17にあります、「1つの地域に、保育園と幼稚園があつてこそ、就業証明で入園資格を確認すべきだと思う」というのは、すごく分かりやすく記載してくれているなと思いました。また、育児休暇をとっている人も、第2子が生まれた場合は、保育所に入園できないですね。決まりではありますが、校区とは違う幼稚園に預けて、小学校は地元に通うという事が起きていますよね。そういった制度的な部分の壁がすごくあり、難しいと感じますし、何とか出来ないのかと強く思います。

#### 委員長

そのような意見は非常に多いと思います。そういったところは、保育制度の根幹に触れる所ではありますが、保育所は、「保育に欠ける」という要件を満たさないと入所は出来ないのです。ですが、27年度からは、この部分が「保育に欠ける」ではなく、「保育を必要とする」に変わり、若干、緩和されます。たとえば、パートで週2日や3日の勤務でも、保育を必要とすれば入所出来ますし、求職中についても保育を必要とするに入るとされます。今、そのような方向になろうとはしています。幼稚園の認定こ

も園化は加速しています。西淡地区で、保育に欠ける子どもは、西淡町以外の保育園に行くことが多いのでしょうか。それとも、幼稚園にいて、対応して貰っているのでしょうか。

委員

松帆南・北保育園へ行っている方が多いです。私立です。

委員長

距離にすると遠いのでしょうか。

委員

時間にすると20分ぐらいです。通勤途中に預けている。

委員長

幼稚園が人数を減らして一体化園になりますかね？

委員

「満足」「やや満足」が多いは、良いことです。気になるのは、延長保育施設が少ないですかね。働くのには少ないのでは？必要と感ずます。統廃合と民営化は保護者にもっとわかりやすく教えてあげたら、理解してもらえるのではないのでしょうか。自由記述で意見が出ています。

副委員長

保護者は、現状保育所は、ほぼ「満足」であり、今は何で「民営なのか」、今のままで良いのではないか。一体化は認定こども園に進んでいる状況で、両方の良いところを取ってするのであれば、早く進めてほしい。民営化については、自由記述を丁寧に見ていく必要がある。幾らかの民営化の意見はあるが、現状維持が大半ではないか。

部長

民営化は市の「行財政改革」で市営すべての施設のことについて検討している。保育所もその一環で取り組んでいる。「民」でできることは「民」で、できないか検討しているわけで、保育所も同様です。この委員会でも民営化について意見を出して欲しい。

委員

私の望んでいるところは安全で安心して暮らせる保育所であって、保育料は今の水準で、アンケートからみえてきた就労に対応する保育所など、サービスの提供がある民営化であるならば、それはそれで良いのではないかと。そのあたり行政は、どのあたりまで「責任の担保」がとれるのかです。

#### 部長

まとめ方として、方向は民営化という文言を入れてもらって、実施に当たっては、アンケートからもあるように保護者への理解、要望などを踏まえながら、それぞれいつになるかわかりませんが、実施していく。今は保育に対して「満足」であるのはうれしいです。委員会では方向性を出して欲しい。

#### 副委員長

大きな目標を掲げて民営化するのであれば賛成するが、市の財政再建のためにするのであれば、反対です。

#### 委員

市では公共施設が多くあり、今後のあり方にも話があるかと思いますが、民営化とは別に、統合となりますとアンケートの結果で、今の保育所に集まっているのは手狭になって大変なのに、統合で更に手狭になって不安である。委員会として議論してもらい、そののちを提言してほしい。

#### 委員長

幼保一体化、民営化については「望ましいか」は強い要望はない、現状維持の意見が多くある。30年ほど前は、公立施設は多くあったが、公立は補助から一般財源化により、建物は30～40年前のまま、遊具の数は少ない市は多い。また、正規職員の人数も少ない。民間はほとんど正規職員である。幼保では、住んでいるところに幼稚園、保育所の両方が、「ある」か「ない」に加え、教育ニーズの高い親が幼稚園を求めるところはある。幼保とも同じではあるが、印象的な違いで保護者は求められる。両方選べる方向性がよいと思います。民営化についてはもっと考えていく必要があります。

#### 委員

資料P14の実施してもらいたい保育ニーズで、松帆地区の土曜休日保育は87人のサンプルにも関わらず5.7ポイントと低いですが、どうし

てですか。

委員

松帆南保育園など私立では実施しているため、充足されている。

委員

資料P 14で充実してもらいたいサービスの病児・病後で、親の共働きのところで、緊急で昼間に迎えに来てほしいと連絡が入っても、なかなか行けない時がある。こういうところは充実してほしい。民営化には保護者に知ってもらい、理解してもらいたいことが大切だと思う。理由として、「軽減された財源を子育て支援などの有効的に利用」など。市内には、遊戯施設が少ない。

委員長

方向性は何が何でも民営化ではないが、統廃合・幼保一体化も含めもう少し議論する必要があります。

副委員長

全国的に幼・小・中の統廃合が進んでいるが、地域を残す前提で小さな学校でも残す風潮もある。中央寄りではなく、地域3～4人でも残すのも1つの考え、民営化は保護者へ理解を求めていくことを提言に入れて欲しい。

委員長

小規模保育所の話も進める必要性があります。次回にもう少し自由記述も含め議論していきたいと思います。最後に副委員長の閉会あいさつで閉めたいと思います。

#### 4 閉 会

副委員長

今日は4人の欠席者がいましたが、次回から全員参加できるよう協力願います。どうもお疲れ様でした。